

パイプウニ

分類：ホンウニ目 ナガウニ科（棘皮動物 ウニ綱）

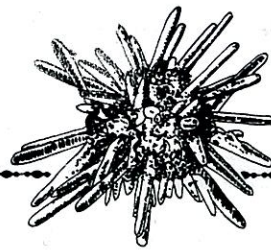
学名：*Heterocentrotus mammillatus*

英名：Pencil urchin

沖縄以南から熱帯海域にかけてのサンゴ礁や、岩礁上の砂の上に生息する。殻は楕円形で長径8cm、石灰質でできた棘は背面のものは特に大きく、その根元の直径は1cmを超えるものもあって長さは10cm以上になる。下面（口側）の棘は短くやや偏平する。棘の色は赤褐色、暗褐色、濁褐色で2~3条の白色の横縞が見られる。棘はパイプ、飾り物、石筆の代用などに利用される。同科のナガウニ *Echinometra mathaei* は、サンゴ礁のやや窪んだ所や岩陰などに生息する。



ミナミジンガサウニ
Colobocentrotus atratus



ノコギリウニ

分類：キダリス目 キダリス科（棘皮動物 ウニ綱）

学名：*Prinocidaris baculosa*

英名：

相模湾以南の暖海の浅海から水深250m位に広く分布する。絶滅した化石の現存種というべきもので、ウニの原始的特徴をもっている。殻の直径5cm、高さ3cm、殻の両面はやや平たく、大きなイボが縦に一列に並び、その頂点には関節で連結された大棘はやや偏平、又は円柱状で長さは10cm、先端はやや鋭い、大棘の根元は環溝の周りに生えた短い棘に包まれ、赤褐色の丸い小斑点が並び、その上方に鋸歯状に棘と顕著な赤褐色、又は赤紫色の横縞が見られる。同科のマツカサウニ、*Eucidaris metularia* は殻の直径2cm位で陣笠の様な形をして、大棘の先端は丸みをおびている。



ノコギリウニの一種
Pr. verticillata



ノコギリウニ



ナガウニ
Echinometra mathaei



マツカサウニの一種
Eucidaris tribuloides



左 ナガウニ
右 マツカサウニ